第３学年　社会科　学習指導案

１　単元名　　「地方自治と私たち　～新潟市江南区のまちづくり～」

２　単元の目標

○地方自治の考え方や仕組み、住民の権利や義務、地方財政などの基本的な考え方について理解している。【知識・技能】

○自分たちが住む地方公共団体の課題や政策について対話的な活動を通して、多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考える。【思考・判断・表現】

○自分たちが住む地方公共団体の課題や政策について主体的に探究し、社会に関わろうとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地方自治の意義について理解できる。 ・二元代表制の仕組みを中心に、地方自治の仕組みについて理解できる。 ・地方財政の仕組みと課題を理解できる。 ・地方政治への住民参加の方法について理解できる。	・資料から新潟市江南区の魅力と課題について考えることができる。 ・新潟市江南区のまちづくりについて多面的・多角的に考えることができる。	・新潟市江南区の魅力と課題について主体的に資料から読み取ろうとしている。 ・積極的に新潟市江南区の政治に参加しようとしている。

４　単元と指導の構想

（１）　単元観

本単元は中学校学習指導要領社会編の公民的分野の内容Ｃ私たちと政治(２)イ「民主政治と政治参加」に該当する。ここでは、「地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することに向けて」とあるように、生徒が社会参画しようとする意識の育成が求められている。近年、選挙権の年齢が満１８歳に引き下げられた一方で、若年層の投票率の低下など若者の政治離れが問題となり、一層の主権者意識を持つことが課題である。地方自治については、地方分権が進む中、各地方公共団体が、人口減少や少子高齢化、地域衰退など様々な問題を抱えている。生徒たちが住む新潟市江南区の課題や政策について話し合う活動を通して、自分たちの地域に積極的に関わっていこうとする態度を高めたい。

生徒の身近な地方公共団体は新潟市であるが、新潟市は政令指定都市でもありその規模が大きく、生徒の“身近”であるという感覚からはズレてしまう。そのため、今回は、新潟市江南区にしぼって単元を構想した。新潟市江南区は、交通の要衝として、高速道路をはじめ、国道、広域

幹線道路などが通り、その利便性を生かしたまちづくりが進んでいるので、工業団地や大型ショッピングセンターが多く、居住地に恵まれている。そのため、現状では、子育て世帯が多く流入し、年少人口割合が新潟市内で最も高く、人口の社会動態では概ねプラスとなっている。一方で、自然動態がマイナスとなるなど、将来的には少子高齢化に向かう傾向も見られる。生徒たちに、そのような地域の現状を把握させ、問題意識を持たせ、社会参画しようとする意識を高めさせたい。

（２）指導の工夫

①　単元を貫く問いと毎時間の振り返り

本単元では、前半で地方自治の考え方や仕組み、住民の権利や義務、地方財政などについての基本的な考え方を理解し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得した上で、自分たちが住む地方公共団体の課題やその解決策について考える。そこで、単元の学習が連続した学びになるように、「新潟市江南区をよりよくするために、あなたはどのような考えを持って政治に参加するか」という単元を貫く問いを単元の導入で設定する。また、単元を通して毎時間振り返りシートを活用することで、単元を貫く問いを毎時間の授業とつなげていく。

②　ICT の活用

本校では生徒の考えを広げ、深めていく過程で、ICT 機器の活用は有効であると考え、研究を進めている。これまでの学習では主に、資料の提示やレポート作成で ICT 機器を活用してきたが、今回は話し合いの場面でも、生徒たちの思考の過程や結果を視覚的にわかりやすくなるように活用していく。

③　地域資料の活用

生徒たちが、単元を貫く問いに切実性を持ち、政治と自分とのつながりを感じるために、新潟市江南区が作成している「江南区　区ビジョンまちづくり計画」を活用する。新潟市江南区が実際に行っている政策や課題としてあげている点を調べ、自分たちの生活経験からくる知識や問題意識と照らし合わせることで、単元を貫く問いに迫っていく。

５　単元の指導計画　(全８時間)

時	学習のねらい(○)と主な学習内容(・)	評価			
		知	思	態	評価規準
単元を貫く問い **新潟市江南区をよりよくするために、あなたはどのような考えを持って政治に参加するか？**					
1	○地方自治の意義について理解する。 地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれるのはなぜか？ ・新潟市江南区「カナリア号」の取組 ・地方自治とは、国や地方公共団体の役割、地方分権とは	○			・地方自治の意義について理解できる。

2	○地方自治の仕組みと国の政治の仕組みの違いを理解する。 地方自治の仕組みは国の政治の仕組みと比べ、どのような点で身近だろうか？ ・地方議会と首長の役割、二元代表制の仕組みと直接請求権	○			・二元代表制の仕組みを中心に、地方自治の仕組みについて理解できる。
3	○地方財政の仕組みと課題を理解する。 地方財政にはどのような課題があるのか？ ・地方財政の仕組み、地方財政の健全化 ・新潟市の財政	○			・地方財政の仕組みと課題を理解できる。
4	○地方自治への住民参加の方法について理解する。 住民の声を生かした政治を実現するために、どのようなことができるか？ ・住民運動の広がり、地域社会の課題	○			・地方政治への住民参加の方法について理解できる。
5	○新潟市江南区の魅力と課題について、資料から読み取り、自分の考えをまとめる。 新潟市江南区の魅力と課題は何か？ ・新潟市江南区の人口統計 ・新潟市江南区の政策		○		・新潟市江南区の魅力と課題について、資料から考えることができる。
				○	・新潟市江南区の魅力と課題について主体的に資料から読み取ろうとしている。
6	○新潟市江南区のまちづくりについて、自分の考えを説明することができる。 新潟市江南区の住民としてどのようなまちにしていきたいか？ ・新潟市江南区の政策		○		・新潟市江南区のまちづくりについて多面的・多角的に考えることができる。
7 本時	○新潟市江南区のまちづくりについて、班で話し合った内容をもとに考える。 新潟市江南区の住民としてどのようなまちにしていきたいか？ ・新潟市江南区の政策		○		・新潟市江南区のまちづくりについて、話し合いを踏まえて、多面的・多角的に考えることができる。

8	○積極的に新潟市江南区の政治に参加しようとする態度を養う。 新潟市江南区をよりよくするために、あなたはどのような考えを持って政治に参加するか？ ・地方に向けての提言書 ・社会参画する際の視点			○	・積極的に新潟市江南区の政治に参加しようとしている。

6　本時の計画　（７時間目／全８時間）

（１）　本時のねらい

新潟市江南区のまちづくりについて、資料から読み取った内容をもとに話し合う活動を通して、地域のまちづくりを多面的・多角的に考察することができる。

（２）　本時の構想

①　多面的・多角的な視点の共有

本時にいたるまでの学習の中で、生徒は新潟市江南区には子育て世帯が多く流入する一方で、将来的な少子高齢化に陥る現状を、人口統計から把握している。これにより、子育て世帯の立場、高齢者の立場などそれぞれの立場から、「どのようなまちにしていきたいか」を考えることができる。また、「江南区　区ビジョンまちづくり計画」を参考にすることで、地域の課題や政策を「交通」、「環境」、「防災」、「福祉」、「産業」、「まちなか」、「教育」、「文化・スポーツ」、「地域」、「区役所」の視点から考察することができる。

②　地域資料の活用

本時では、新潟市江南区が作成している「江南区　区ビジョンまちづくり計画」を資料として活用する。これにより、実際の数値やデータを自分の意見の根拠とできる。また、社会参画を行うために、地域の情報を収集する方法を体得できる。

③　ＩＣＴ機器の活用

本時では、資料の提示、話し合いの場面でロイロノートの機能を活用する。ロイロノートのカードで地域資料をみるためのリンクを送り、そこから考えた「力を入れたい分野ベスト３」をロイロノートのカードにまとめる。それを話し合いの中で発表する資料として活用する。

④　思考ツールの活用

本時の話し合いの場面では、生徒それぞれが「最も重視したい分野」について発表した後、班で「最も重視したい分野」を決める。その際、思考ツールの「座標軸」を用い、横軸を「効率」、縦軸を「公正」と設定する。それにより、どの分野を重視するべきか吟味することができ、生徒の思考を深められる。

（３）　本時の展開

学習活動	T　教師の働きかけ　S 予想される生徒の反応	■評価規準○留意点
導入 1　前時の復習をする。	T1　前時までの学習を確認させる。ペアで全員が発表した後に、何人かの生徒を指名して発表させる。 新潟市江南区にはどのような魅力や課題があったか。	○前時までの学習を振り返ることで様々な立場の人から見た

５分	S１　交通の便がよい　自然が多い　子育てしやすい 買い物などに便利　　製造業が盛ん S２　交通渋滞が多い　　公園の面積が小さい 公共交通手段が不便な地域がある。 将来の少子高齢化の際に、福祉施設などが足りなくなるかもしれない。	魅力と課題を表出させる。
	学習課題　新潟市江南区の住民としてどのようなまちにしていきたいか。	
	T２　前時に個人で考えた「新潟市江南区の住民として、最も重視したい分野」を確認させる。 S３　「交通」　高齢者が増えたときに公共交通機関が整備されていないと困る人が多い。 S４　「環境」　　ショッピングセンターなどは多くあるので、子どもたちが遊べる公園などを多く整備した方がよい。 S５　「福祉」　高齢者が住み慣れた町で安心して暮らせるように、生活支援を充実させる必要がある。 S６　「産業」　今ある農業の強みを生かし、新たな担い手を創出するなど、今後も持続可能な農業にしていく必要がある。 S７　「まちなか」　ショッピングセンターだけではなく、まちなかの商店街を活性化させる必要がある。 S８　「教育」　地域課題や学習ニーズに対応した学習機会の提供が大切である。 S９　「文化・スポーツ」　地域の歴史や伝統をしっかりと継承することで、地域への愛着をもつことができる。 S10　「地域」　住民同士のつながりを強めることで、地域の活性化や持続可能な地域活動につながる。 S11　「区役所」　行政の力で住民の意見を広く吸い上げることで、よりよいまちづくりにつながる。	○自分が選んだ分野の理由を、資料を参考にして書かせる。 ○選んだ分野ごとにカードの色を分けて、視覚的に見やすくさせる。 ○「効率と公正」の視点の「座標軸」を用いることで、自分が最も重視する政策について、考えをまとめさせる。 ■資料を根拠に、自分の考えを説明できたか。
展開 ２　新潟市江南区のまちづくりについて、班で考える。 ３０分	T３　個人が考えた「新潟市江南区の住民として、最も重視したい分野」を発表させる。その後、班で「新潟市江南区の住民として、最も重視したい分野」を作成させる。 S12　私たちの班では、「産業」と「まちなか」と「交通」の分野が出た。それぞれの分野を比較した結果、「交通」の分野を最も重視する。理由は、最近の江南区では、土日の買い物客の影響などで、交通渋滞が頻繁に	○「私たちの班では、～と～の分野が出た。それぞれを比較した結果、～の分野を最も重視したいと考えた。その理由は～だから。」と発表をする文章の型を提

	起きている。地域に住む人が過ごしやすくするためにも、すぐに道路を整備する必要がある。また、今後は高齢化が進み、交通弱者が増えることが予想されるため、公共交通機関を整備する必要がある。高齢者の世代の人から見ても、「交通」の分野は大切である。現在問題になっている点、それぞれの世代の人にも必要な点は、「効率」、「公正」の観点から見ても、他の分野よりも重要であると考えた。 S13　私たちの班では、「福祉」と「教育」と「交通」の分野が出た。それぞれの分野を比較した結果、「福祉」の分野を最も重視する。理由は、最近の江南区は子育て世帯を中心とした流入人口が増えているので、その人たちが住みよい町にするべきだと考えたからである。また、今後は高齢者が増えることを考えても、高齢者の人たちが住みよい町にするために「福祉」は大切である。今と未来の状況を考えて、「福祉」の分野が最も重要であると考えた。 T４　ロイロノートの提出箱ですべての班のまとめを共有させ、発表させる。	示し、結論→理由という順序で説明をさせる。また、他の分野との比較をした結果も含めて説明させる。 〇分野を選んだ理由の記述で、子育て世帯、高齢者など様々な立場や、長期的な視点、短期的な視点などから考察できるように支援をする。
終末 ３　話し合いを終えて考えた、新潟市江南区のまちづくりについて振り返る。 １５分	振り返り　新潟市江南区の住民としてどのようなまちにしていきたいか。 T５　今日の話し合いを通して、新潟市江南区のまちづくりについて考えたことを文章にしてワークシートに記入させる。 S14　自分は「交通」に力を入れて欲しいと考えていたが、今後の高齢化を考えたときに「福祉」にも今から力を入れていくべきだと感じた。 S15　私は、ショッピングセンターなどをもっと増やして、便利で住みよい町にするために「産業」に力を入れていくべきと考えていたが、亀田駅前の商店街の現状を考えると、「まちなか」の分野にも力を入れる必要があると感じた。	〇話し合いを踏まえて、自分の考えが変化したり、深まったりした内容を振り返させる。 ■話し合いを踏まえて、新潟市江南区のまちづくりについて、多面的・多角的に考察できたか。

（４）評価

A	新潟市江南区のまちづくりについて、資料から読み取った内容をもとに、多面的・多角的に考察することができる。さらに、話し合いによって自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
B	新潟市江南区のまちづくりについて、資料から読み取った内容をもとに、多面的・多角的に考察することができる。

新潟市江南区のまちづくりについて、資料をもとに多面的・多角的に考察することができているか

を振り返りから評価する。さらに、班での話し合いによる思考の広がりや深まりを評価する。

(思考・判断・表現)

（５）板書計画

［新潟市江南区のまちづくり　③］

単元を貫く学習課題

学習課題　新潟市江南区の住民として、どのようなまちにしていきたいか。

新潟市江南区の魅力・課題

交通の便がよい　自然が多い　子育てしやすい

買い物などに便利　食料品などの産業が盛ん

交通渋滞が多い　公園の面積が小さい

公共交通手段が不便な地域がある。

◎「新潟市江南区の住民として、最も重視したい分野」を発表しよう。

文章の例

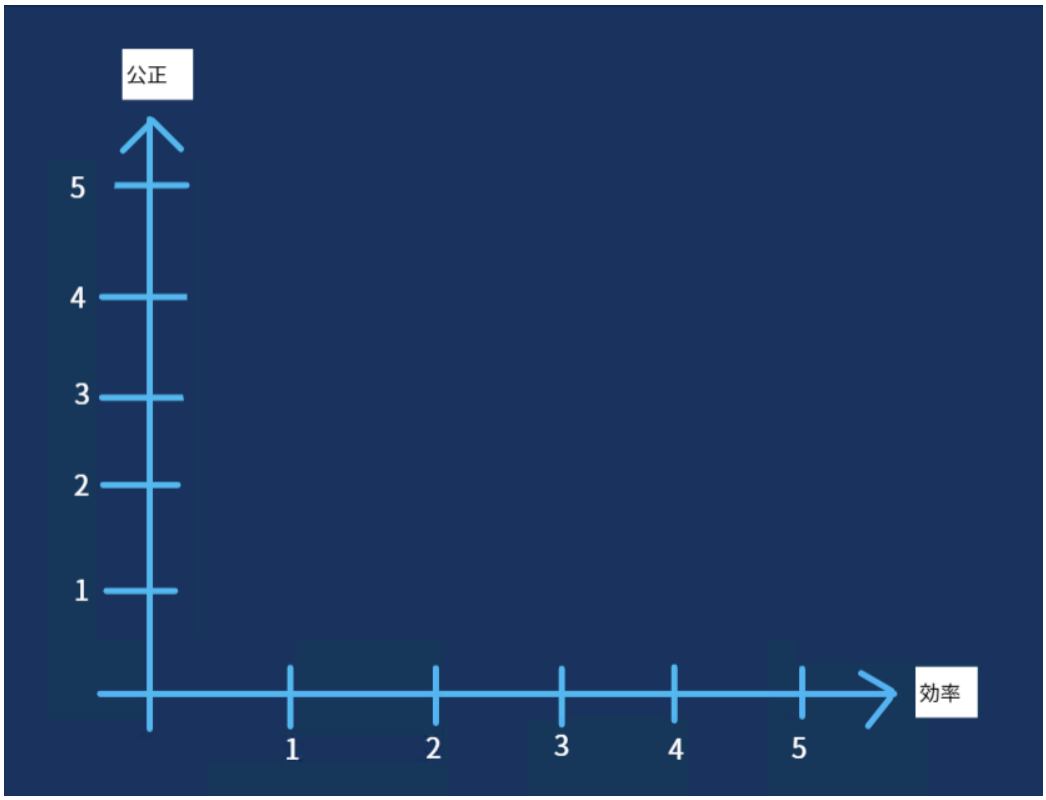
「私たちの班では、～と～の分野が出た。それぞれを比較した結果、～分野を最も重視したいと考えた。その理由は～だから。」

振り返り　新潟市江南区の住民としてどのようなまちにしていきたいか。

※話し合いを踏まえて、自分の考えが***変化したり、深まったり***した部分を振り返る。

(６)資料

○ロイロノートで送る思考ツール　「座標軸」



○カードの色割り

「交通」：ピンク、「環境」：水色、「防災」：黄緑、「福祉」：薄黄色、

「産業」：赤、「まちなか」青、「教育」緑、「文化・スポーツ」黄色、

「地域」：白、「区役所」：黒